



栗田 昌子 議員

## Q. 障害者福祉に配慮と工夫を A. 社会福祉協議会と連携し研究する

**Q**

① 専門病院やシヨートステ

イ先への移送支援のあり方は、距離や行き先の制限を取り払った助成で、遠隔地にしかない専門病院や施設を利用しやすくなすべき。

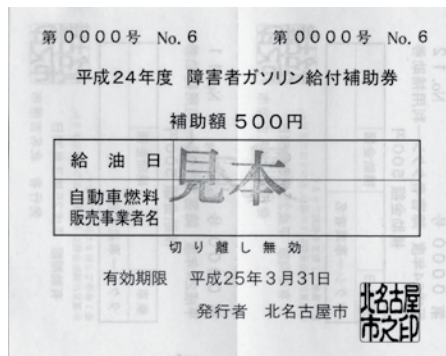
② タクシー券の使い勝手が悪い。工夫を。またタクシー券かガソリン券の選択を可能に。  
③ 親グループ自主活動への援助を。

**A**

① 移動困難な障害者への支援

は、タクシーの基本料金、迎車料金などの補助を今後も行なう。なお、介

護者の高齢化等は、地域福祉の課題である。ボランティアや社会福祉協議会等と連携し、どのような活動が展開できるかを研究して行く。  
② 障害者等福祉タ



北名古屋市のガソリン券

クシー利用料金助成は、居宅での日常生活

支援を目的とし、通院や買い物などの移動を支援する制度である。自家用車を運転する障害者本人や保護者を対象としたガソリン券を給付する考えはない。

③ 障害者団体への補助は心身障害者福祉協会へ助成している。この会員は、本人又はその代理者も会員になれば、幼児や親子部会などの活動もできるので、ぜひとも親グループへの紹介と加入の案内をお願いしたい。

## Q. 歯科口腔保健プランの

### 進み具合は

## A. 「第2次とよやま健康 づくり21計画」に 基づき実施

**Q**

昨年8月成立の歯科口腔保険法。

愛知県も医療費削減のために、治療でなく予防に軸足を転換した。本町では、どのような予防プランを立てているのか。

教育、定期的な歯科健診

により歯周病を予防し健全な歯を残し健康増進につながるよう事業を推進する。また、8020表彰も、継続して実施する。  
平成26年度以降は、現在策定を行っている「第2次とよやま健康づくり21計画」に基づき実施する。

**A**

平成25年度は、全国の年長園児及び天使幼稚園年長園児を対象に幼児の虫歯予防として、フッ化物洗口を実施する。

成人保健事業において歯、歯周疾患予防の健康

※その他の質問

「小中学校に聴講制度の創設を」